

統合失調症とは

統合失調症とは、「陽性症状」、「陰性症状」、「認知機能障害」からなる病気です。

「陽性症状」には、「幻覚」、「妄想」があります。「陰性症状」は、意欲の低下や、感情の起伏がなくなる状態です。「認知機能障害」には、記憶力の低下や、知能の低下があります。

100人に約1人が発症するありふれた病気です。発症年齢は、10代後半が多いと言われています。男性の方が発症する時期が早い傾向があり、発症する年齢が、遅いほど予後が良いことが多いです。きちんと治療すれば、病気をかかえながらも仕事をしている人もいます。

統合失調症の経過は、「前駆期」、「急性期」、「慢性期」と移行していきます。

「前駆期」には、抑うつ気分、不安感、焦燥感、無気力、集中力低下、不眠などの症状が現れます。「急性期」は、幻聴や妄想などが出現し、興奮状態の時期です。「慢性期」は、再発を繰り返すことで、慢性に経過していく時期のことです。主に、陰性症状が中心になります。

治療法は、お薬と環境調整です。統合失調症は、脳内で神経伝達物質であるドーパミンが異常に分泌され、幻覚、妄想が出現するため、お薬でドーパミンの分泌を抑えることで症状を改善します。ただし、再発のしやすい病気ですので、勝手にお薬を中止せず、良くなっても継続して服用する必要があります。ストレスがたまると症状が悪化するため、仕事を調整し、規則正しい生活が出来るように環境を整える必要があります。

再発の原因は、お薬の中断、環境の変化があります。再発しやすい時期は、お薬を中断してから半年以内です。幻覚、妄想、意欲の低下、不眠、不安などの症状が出現したら、再発を疑う必要があります。再発にはその人特有のパターンがありますのでそのパターンを把握しておく必要があります。判断に迷うような時は、早めに医師に相談するようにしてください。



多摩東部地域産業保健センター 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 0422-24-6906

FAX 0422-24-690

メールアドレス sanpo@kind.ocn.ne.jp

HP <http://www.sanpo-tama.jp/>